

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン

一 関 市

2019年3月 策定

一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 目次

I	定住自立圏の名称	
1	定住自立圏の名称	(1)
2	圏域を形成する市町の名称	(1)
II	定住自立圏共生ビジョンの目的	
1	定住自立圏共生ビジョンの目的	(1)
2	定住自立圏共生ビジョンの期間	(1)
III	定住自立圏の将来像	
1	圏域の現状	(1)
2	圏域の将来像	(3)
IV	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組	
1	生活機能強化に係る政策分野の取組	
(1)	医療	(7)
(2)	福祉	(9)
(3)	産業振興	(13)
(4)	教育及び文化	(22)
(5)	消防防災	(28)
2	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野の取組	
(1)	地域公共交通	(29)
(2)	交通インフラ整備	(30)
(3)	協働のまちづくり	(32)
(4)	地域内外の住民との交流、移住促進	(33)
3	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野の取組	
(1)	中心市等における人材育成	(35)

I 定住自立圏の名称

- 1 定住自立圏の名称 一関・平泉定住自立圏
- 2 圏域を形成する市町の名称 一関市及び平泉町

II 定住自立圏共生ビジョンの目的

1 定住自立圏共生ビジョンの目的

本ビジョンは、一関市と平泉町の間で締結した定住自立圏形成協定に基づき、魅力ある定住自立圏を形成するため、圏域全体として目指すべき将来像を掲げ、適切に役割分担しながら、連携し推進する具体的な取組を示すものである。

2 定住自立圏共生ビジョンの期間

2019年度から2023年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行うものとする。

III 定住自立圏の将来像

1 圏域の現状

(1) 位置と範囲

本圏域は、岩手県の南端に位置し、南部は宮城県に、西部は奥羽山脈を隔てて秋田県に、北部は奥州市、東部は気仙地区にそれぞれ接している。また、圏域の中心都市である一関市は盛岡市と仙台市のほぼ中間(それぞれ約90キロメートル)に位置し、東京都は新幹線で約2時間の距離にある。

圏域は、一関市、平泉町の1市1町で構成され、総面積1,319.81平方キロメートルで県土の8.6パーセントを占めている。

面積 (単位：km²)

区分	一関市	平泉町	圏域合計
面積	1,256.42	63.39	1,319.81
構成比	95.2%	4.8%	100.0%



(2) 地勢と気候

本圏域は、中心部を貫流する北上川と、その支流である太田川、磐井川、砂鉄川、千厩川、黄海川などの流域に開けた地域であり、その地勢は次の三つに分けられる。

一つは奥羽山脈にある標高1,626メートルの栗駒山から北上川流域に至る標高差の大きい西部山岳地帯、一つは北上川流域を中心とする低地平野部、一つは標高差は緩やかながら起伏に富んだ北上山系の一部をなす東部丘陵地帯の三地域であり、西部山岳地帯の一部は栗駒国定公園に、また東部丘陵地帯の一部は室根高原県立自然公園に指定されているなど豊かな自然景観に恵まれている地域である。

気候は、内陸型の特徴を示し、気候の比較差、年較差は大きいものの、県内では比較的温暖な地域である。

(3) 歴史

本圏域は、11世紀から12世紀にかけて藤原氏が奥州全域を統治し、黄金文化が開花した時代の中心であり、極めて高度な政治、経済、文化を有して、東北地方に数少ない繁栄の時代をもたらした地域であった。

藩政時代は、仙台藩及びその支藩である一関藩に属し、廃藩置県の際には現在の岩手県南と宮城県北部一帯に一関県が置かれるなど、もともと歴史的・風土的に古くから宮城県北部との結びつきが強く、現在でも人的、物的交流が極めて深いものとなっている。

(4) 交通条件

本圏域は、中心部を東北縦貫自動車道、東北新幹線など高速交通幹線が南北に縦断しており、これらと並行して国道4号、東北本線が走り、さらに国道284号、343号及び346号やJR大船渡線が東西に横断して内陸部と三陸沿岸部を結んでいる。

また、国道456号が県央から一関市東部を経て宮城県へ、国道342号と457号がそれぞれ一関市西部から秋田県及び宮城県へ通じている。

このほか、主要地方道が東西方向、南北方向にそれぞれ伸びており、これら主要幹線道路と一般県道、市町道、広域営農団地農道等によって圏域道路網が形成され、住民生活はもとより産業、経済活動の重要な基盤としてその役割を果たしている。

2 圏域の将来像

(1) 将来推計人口

2015年（平成27年）の国勢調査によると、本圏域の人口は129,451人となっており、2010年（平成22年）より6,536人、4.81%減少しており、1955年（昭和30年）の185,454人をピークに減少を続けている。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本圏域の人口は、今後も減少を続け、2030年には106,481人、2040年には90,789人になるものと見込まれる。

【表1】圏域における人口の推移と将来推計

（単位：人）

年 市町	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	減少率 H27比
一関市	127,642	121,583	114,777	107,577	100,322	93,189	85,744	▲29.48
平泉町	8,345	7,868	7,320	6,730	6,159	5,607	5,045	▲35.88
圏域合計	135,987	129,451	122,097	114,307	106,481	98,796	90,789	▲29.87

※ 2010・2015年数値＝国勢調査数値、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計（2018年3月公表）による。

(2) 圏域の将来像

今日の社会情勢は、少子高齢化の進行、産業・就業構造の変化、人口知能、ロボットなど第4次産業革命と呼ばれる技術革新やグローバル化の進展など大きく変化している。

人口減少の速度は、岩手県は全国平均より早く進んでいる。また、一関市と平泉町からなるこの圏域は県内他市の平均よりさらに速く、急激な人口減少に伴う地域社会の活力の低下が危惧されている。

一方で、住民や企業等の経済活動圏、生活圏は市町村の枠を越えてさらに広域化しており、また、人口減少と高齢化がさらに進む中で、行政に対するニーズも多様化、高度化してきていることから、現在の行政サービスのあり方を、広域的視点に立った、時代に合ったものに変えていくことが求められている。

このような状況を踏まえ、人口減少社会や高齢化社会に対応できる地域づくりのためには、しっかりとした定住施策が必要である。

両市町は、次の3つを基本的な視点として、適切な役割分担と連携を図り、この圏域に暮らす住民が「郷土の誇りを育み、住み続けていきたいと思える一関・平泉定住自立圏」の形成を目指すものである。

若い世代が希望を持って働くことができる雇用の創出、子どもを産み育てやすい環境づくり、高齢になっても暮らしやすい生活環境の整備を通じて、生涯にわたって安心して健やかに暮らせる圏域を目指す。

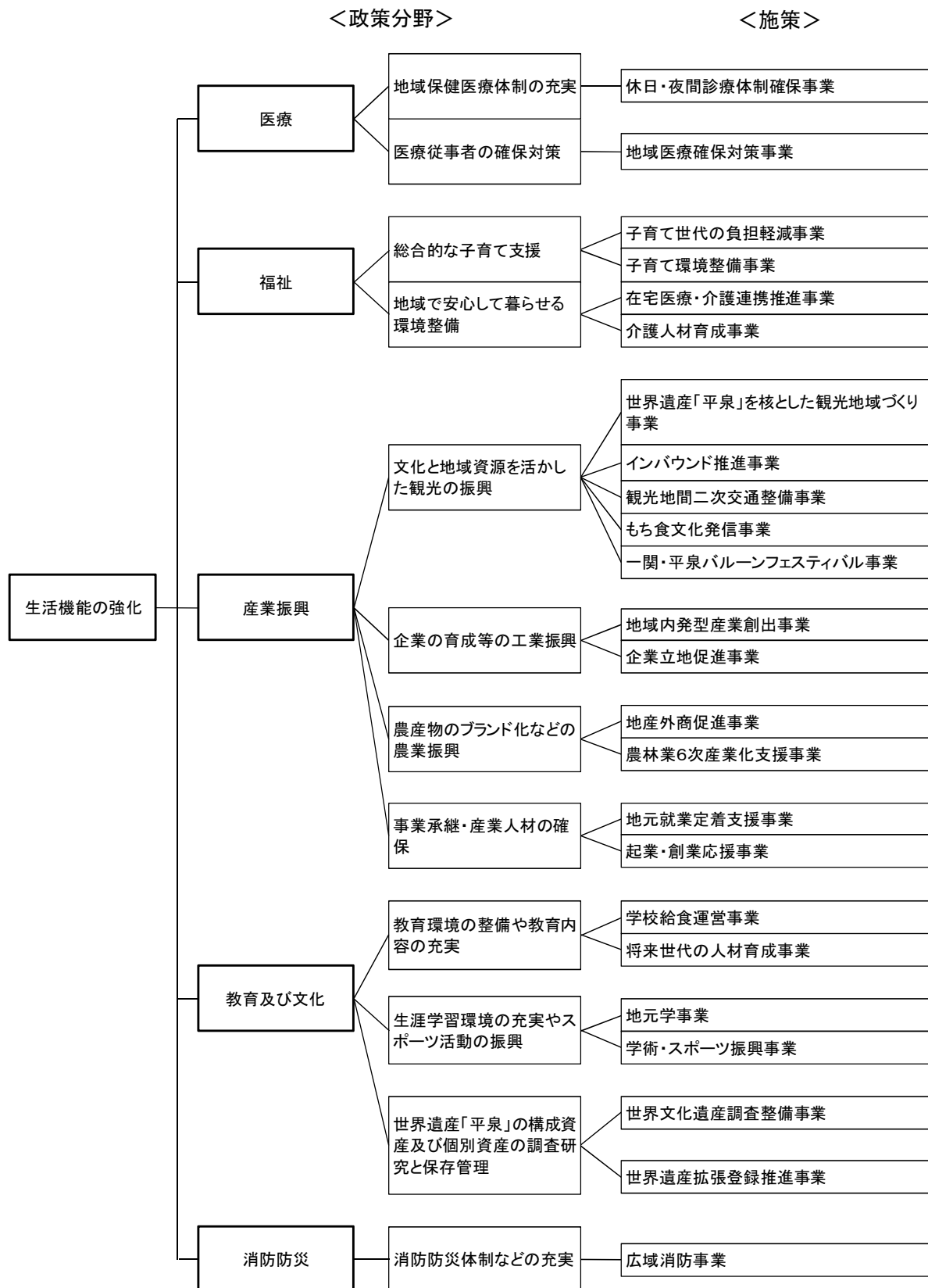
世界文化遺産「平泉」やもち食文化をはじめ、自然や人の営みが育んだ特色ある歴史や文化、産業などの地域資源を磨き上げ、活力あふれる圏域をつくり、次の世代につないでいくことを目指す。

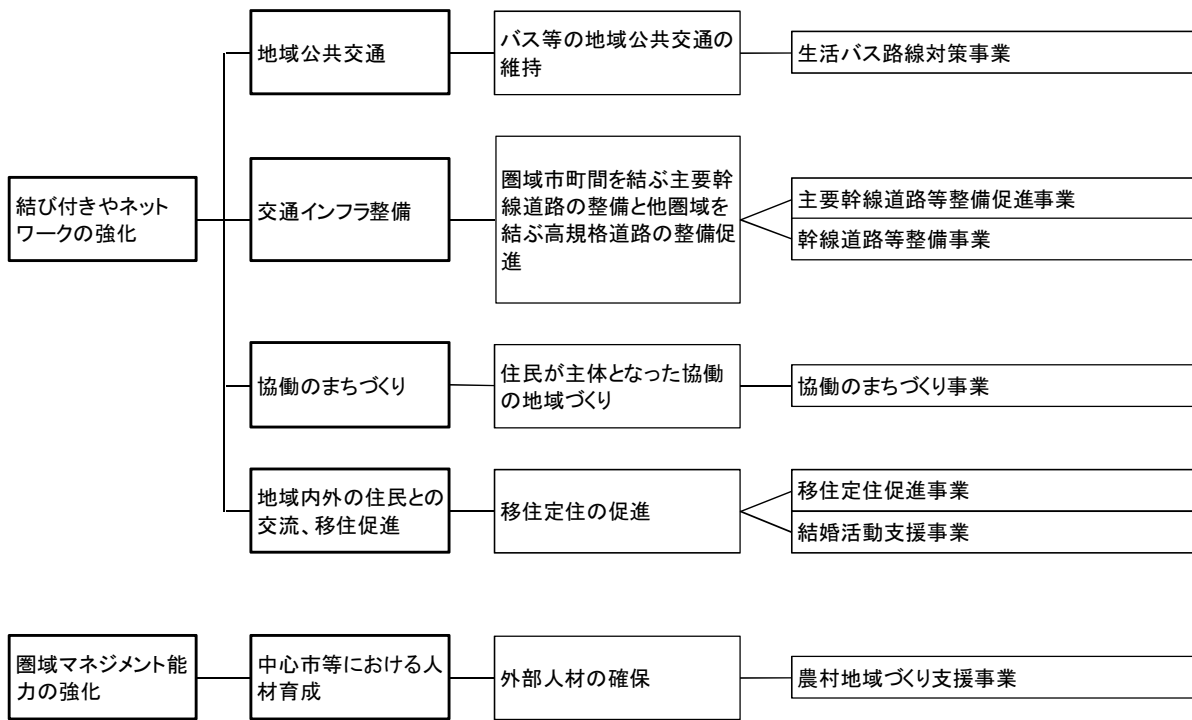
圏域の魅力や暮らしやすさを出身者や移住希望者へ伝えることにより、U I J ターンの流れを促進するとともに、国際化が進展する中で、国内外の人を惹きつけ、呼び込み、相互の交流が深まる圏域を目指す。

(3) 圏域における人口の将来展望

一関市と平泉町がそれぞれ策定した人口ビジョンにおける将来展望に基づき、目標年を2040年とする当圏域の将来人口の目標は、人口が9万1千人程度、高齢化率が4割程度とする。

IV 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組





1 生活機能の強化に係る政策分野の取組

(1) 医療

① 地域保健医療体制の充実

【協定の内容】

取組の内容	行政や関係機関が設置する高齢、障がい、子育て等の各分野の相談窓口の連携を図るとともに、住民が安心して医療サービスを受けられるよう、保健、医療、福祉、介護などの関係機関・団体の連携を強化しながら、地域保健医療体制の充実に取り組む。
一関市の役割	医療機関相互の機能分担や連携を促進するとともに、保健、医療、福祉、介護などの関係機関の連携により、地域保健医療体制の充実に努める。 また、救急医療体制の充実のため、圏域の医療機関等に対し、必要な支援を行うとともに、かかりつけ医など医療機関の適正受診や救急車の適正利用等について市民への周知を図る。
平泉町の役割	保健、医療、福祉、介護などの関係機関の連携により、地域保健医療体制の充実に努める。 また、救急医療体制の充実のため、圏域の医療機関等に対し、必要な支援を行うとともに、かかりつけ医など医療機関の適正受診や救急車の適正利用等について町民への周知を図る。

【具体的な取組】

施策名	休日・夜間診療体制確保事業					関係市町
取組内容	圏域内の休日及び夜間における救急医療体制を確保するため、一関市医師会及び関係機関と連携し、休日及び夜間における救急医療等を実施する。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	休日及び夜間に対する診療の充足率		100%	100%		
事業	休日・夜間当番医制運営事業、休日歯科応急診療事業、病院群輪番制病院運営事業					
効果	休日及び夜間の医療提供体制を確保することにより、圏域住民の安心と安全が確保される。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		49,680	49,680	49,680	49,680	49,680
役割分担	圏域の医療体制の充実に努めるため、両市町をエリアとする一関市医師会の協力のもと、一関市が関係機関等の調整を行い、休日及び夜間における医療提供体制を確保し、平泉町はその費用の一部を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 医療従事者の確保対策

【協定の内容】

取組の内容	圏域における医師をはじめとした医療従事者の確保に努めるとともに、圏域が抱える地域医療の課題解決に取り組む。
一関市の役割	圏域における医師をはじめとした医療従事者の現状を把握し、その確保を図るとともに課題解決に向けた取組を推進する。
平泉町の役割	圏域の医療従事者確保のため、医師等の確保に向けた取組を推進する。

【具体的な取組】

施策名	地域医療確保対策事業					関係市町
取組内容	将来、医師として一関市内の公的医療機関に勤務しようとする者及び医療従事者として市内の医療機関等に勤務しようとする者に対し、修学資金を貸し付けるほか、医療従事の資格を持つ者に対する就業支援を行うことにより、医師及び医療従事者の確保に努める。					一関市
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(2018年度)		目標値(2023年度)		
	医師・医療介護従事者修学資金貸付修学者数	13人		15人		
事業	一関市：医師修学資金貸付事業、医療介護従事者修学資金貸付金（医療従事者分）、看護職員復職支援対策事業、臨床研修医研究支援事業費補助金					
効果	圏域内の医療従事者の確保と定着を図ることにより、圏域住民の安心と安全が確保される。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		44,761	53,761	60,181	67,741	71,341
役割分担	両市町は、同一の医療圏に属しているところであり、圏域として医師及び医療従事者の確保を図るため、一関市が事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 福祉

① 総合的な子育て支援

【協定の内容】

取組の内容	次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のための施策など、総合的な子ども・子育て支援に取り組む。
一関市の役割	母子保健事業の充実や相談体制の確立を図るとともに、安心して子どもを産み育てる環境づくりと、幼児教育施設及び保育施設のサービスを充実し、子どもを豊かに育む保育環境の整備を推進する。
平泉町の役割	安心して子どもを産み育てる環境づくりをはじめとする総合的な子ども・子育て支援を推進する。

【具体的な取組】

施策名	子育て世代の負担軽減事業					関係市町
取組内容	子育て世代の経済的負担を軽減するため、妊産婦、乳幼児から高校生までの医療費助成や第3子以降の保育料無料化を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	一関市及び平泉町の事業により保育料が無料となる第3子以降の数		186人(*)	180人		
効果	子育て世代に対する経済的な負担の軽減により、安心して子どもを産み育てる環境づくりが図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		2,739,865	2,771,685	2,771,685	2,771,685	2,771,685
事業	第3子以降保育料軽減事業、妊産婦医療給付、乳幼児から高校生までの医療給付					
役割分担	定住促進につながる取組という共通認識のもと、子育て支援のため、市、町それぞれが子育て世代の経済的な負担の軽減策を独自に実施し、必要な費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

* 本施策のKPIの現状値については、2018年度時点の市及び町の独自事業の対象とした第3子の数から、2019年10月以降に国が保育料無償化の対象とする第3子の数を除いたものである。

施策名	子育て環境整備事業					関係市町
取組内容	働きながら安心して子育てができるような環境整備や子育て中の親同士が子どもと一緒に交流できる場を提供する取組などを行い、子どもを産み育てやすい環境づくりを進める。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	地域子育て支援拠点事業の利用者数		27,932人	27,600人		
事業	ファミリー・サポート・センター運営事業、延長保育事業、一時預かり事業 一関市：幼稚園一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業 平泉町：子育て支援センター事業、(仮称)新子育て支援センター施設整備事業					
効果	子育て世代の負担を軽減するとともに、子育てに関して同じ悩みを持つ仲間との交流も図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施	→				
事業費見込(千円)		114,761	120,880	192,161	114,761	114,761
役割分担	定住促進につながる取組という共通認識のもと、市、町それぞれが子育て中の親に対する支援策を独自に実施するほか、一関市が両市町をエリアとして提供する子育て支援の場や機会について、必要に応じ、平泉町がその費用の一部を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 地域で安心して暮らせる環境整備

【協定の内容】

取組の内容	<p>健康寿命延伸のため、生活習慣病予防及び介護予防を推進するとともに、一人暮らしや介護が必要になった高齢者、障がい者が家庭や地域で安心して自立した生活を送り続けられるよう、在宅介護及び日常生活の支援に取り組む。</p> <p>また、安定的かつ継続的に介護サービスを供給できるよう、必要な施設整備を図るとともに介護人材の確保、定着、育成に努める。</p>
一関市の役割	<p>生活習慣病予防及び介護予防を推進するとともに高齢者や障がい者に対する生活支援、介護、福祉などのサービス体制の充実を図る。</p> <p>また、中長期的な視点から圏域内の介護施設整備や介護人材の確保、定着、育成を支援する。</p>
平泉町の役割	<p>生活習慣病予防及び介護予防を推進し、高齢者や障がい者に対する生活支援、介護、福祉などのサービス体制の充実を図る。</p> <p>また、中長期的な視点から圏域内の介護施設整備を支援する。</p>

【具体的な取組】

施策名	在宅医療・介護連携推進事業				関係市町	
取組内容	<p>今後、要介護高齢者の増加が見込まれる中、医療や介護において切れ目のないサービスを受けられるよう、相互の情報交換・情報共有を円滑に行い、医療、介護それぞれの分野を超えた多職種連携体制の構築を進める。</p>				一関市 平泉町	
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	医療・介護連携推進団体の研修、セミナー等の参加者数		632人	650人		
事業	一関市：地域医療・介護連携推進事業					
効果	医療介護の連携体制が構築されることにより、医療依存度の高い要介護状態となっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
役割分担	一関市が圏域内の医療と介護の情報共有や連携を深める連絡会や両市町の医療・介護関係者を対象とした研修等を実施し、平泉町も協力する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	介護人材育成事業					関係市町
取組内容	高齢化の進展とともに増加する要介護者、要支援者に対して、安定的に介護サービスを提供できるよう、介護人材の確保、定着、育成のための取組を進める。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(2017年度)		目標値(2023年度)		
	介護人材の確保に資する事業の利用者数	25人		67人		
事業	一関市：医療介護従事者修学資金貸付金（介護福祉士分）、医療介護人材育成事業 平泉町：介護職員初任者研修支援事業					
効果	介護人材の確保により、安心して介護を受けられる環境が整備される。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		29,338	33,526	37,377	38,433	38,948
役割分担	介護保険は、両市町が共同で運営していることから、介護人材の確保等の対策についても、市町で情報交換しながら、それぞれが事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 産業振興

① 文化と地域資源を活かした観光の振興

【協定の内容】

取組の内容	世界遺産「平泉」や「もち食文化」に加え、多様な地域資源を掘り起し、磨き上げるとともに、訪日外国人を含め観光客のニーズに対応した受入環境の整備を進め、魅力ある観光地の形成に取り組む。 また、仙台圏、首都圏の国内観光客と訪日外国人をターゲットとしたプロモーションを展開し、誘客拡大を図る。
一関市の役割	関係機関・団体と連携し、地域資源の活用と魅力を発信するとともに、滞在型観光の推進と受入環境の整備を進め、世界遺産「平泉」を中心とする観光地の魅力向上に努める。
平泉町の役割	関係機関・団体と連携し、地域資源の活用と魅力を発信するとともに、滞在型観光の推進と受入環境の整備を進め、世界遺産「平泉」を中心とする観光地の魅力向上に努める。

【具体的な取組】

施策名	世界遺産「平泉」を核とした観光地域づくり事業			関係市町		
取組内容	「一関・平泉ブランドデザイン機構」の構成団体として「世界遺産平泉・一関DMO」と連絡調整を図りながら、支援を行い、圏域の住民や旅行者が豊かさを感じられる持続可能な観光地域づくりを推進する。			一関市 平泉町		
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年)	目標値(2023年)		
	圏域内の宿泊者数		358,232人	367,700人		
事業	DMO(*)による観光地域づくり事業 一関市：仙台圏観光キャンペーン事業					
効果	観光客へのマーケティング調査から把握したニーズを反映するとともに、多様な関係者と連携し、魅力ある観光地の形成を進め、圏域内の周遊化や滞在型観光の推進が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		22,040	18,444	4,590	787	787
役割分担	一関市及び平泉町が連携し、「世界遺産平泉・一関DMO」に対して支援を行う。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

* DMO (Destination Management/Marketing Organization)：観光庁では、日本版DMOを「地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人」としている。

施策名	インバウンド推進事業					関係市町
取組内容	近隣市町村と連携し、アジアを中心としたプロモーションを行い、誘客を図るとともに、増加する訪日外国人観光客の受入環境の整備を進める。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年)	目標値(2023年)		
	圏域内の外国人宿泊者数		6,710人	17,100人		
事業	インバウンド推進事業 一関市：観光ガイド事業 平泉町：インバウンド対応職員配置事業					
効果	圏域への経済効果が期待できるインバウンド誘致が促進されるとともに、訪日外国人観光客の利便性が高まる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		38,070	22,209	17,043	17,043	17,043
役割分担	一関市と平泉町が連携し、インバウンド誘致のための事業を実施し、それぞれが必要な費用を負担する。					

施策名	観光地間二次交通整備事業					関係市町
取組内容	平泉の文化遺産と一関市の主要観光地とを結ぶ二次交通を整備することにより、観光客の交通手段の利便性の向上を図る。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	二次交通整備事業のバス乗車者数		4,294人	4,500人		
事業	一関市：観光地間二次交通整備事業					
効果	周遊観光を促進させ、交流人口と滞在時間の増加による地域活性化が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
役割分担	一関市と平泉町の観光地を結ぶバス運行を一関市が実施し、その経費を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	もち食文化発信事業					関係市町
取組内容	もち食文化を若い世代へ普及、継承するとともに地域外へ発信することにより、圏域内へのインバウンドを含めた誘客を図る。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	もちサミットの来場者数		24,366人	26,000人		
事業	一関市：ご当地もちサミット開催補助金、食と農の観光PR事業					
効果	全国、世界に向けて積極的にPRすることにより、もち食文化の聖地として広く認知されることで、食による交流人口の拡大が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		12,484	7,600	7,600	7,600	7,600
役割分担	もち食文化の普及・継承、情報発信のために圏域内の団体で組織する実行委員会が実施する事業に対し、一関市がその費用を負担するとともに、平泉町は事業への協力を行う。					

施策名	一関・平泉バルーンフェスティバル事業					関係市町
取組内容	スカイスポーツである熱気球によるバルーンフェスティバルを開催し、圏域内への誘客の推進を図る。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	バルーンフェスティバルの来場者数		16,500人	17,500人		
事業	一関市：一関・平泉バルーンフェスティバル事業					
効果	イベントの開催による交流人口の拡大により、当圏域の情報発信が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
役割分担	圏域への誘客を図るため、両市町を含む関係団体で構成する実行委員会が実施する事業に対し、一関市がその費用を負担し、平泉町は事業への協力を行う。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 企業の育成等の工業振興

【協定の内容】

取組の内容	産学官連携及び圏域内企業間連携による企業の技術開発等を促進し、新たな産業や事業の創造を目指す。 また、圏域の中小企業の育成を支援するとともに企業が立地しやすい環境整備と企業誘致及び事業誘致の活動に取り組む。
一関市の役割	公益財団法人岩手県南技術研究センターや一関工業高等専門学校等を活用した産学官の連携、圏域内企業連携の一層の促進を図る。 また、競争力のある企業の育成を図るほか、企業誘致及び事業誘致の活動を積極的に行う。
平泉町の役割	企業誘致活動と中小企業の安定した成長が図られるような取り組みを行う。

【具体的な取組】

施策名	地域内発型産業創出事業					関係市町
取組内容	地域内発型の産業創出を図るため、地域内企業の交流会や各種セミナー等の開催、研究機関等と共同または委託により実施する新製品・新技術開発事業、品質向上のための事業に対する補助等を行う。 あわせて、取引拡大を図るため、県外で開催される展示会等への出展に係る経費に対する補助を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	産学官イブニング研究交流会の参加者数		709人	750人		
事業	一関市：地域内発型産業創出事業、ものづくり産業振興事業、地域企業取引拡大支援事業					
効果	圏域内企業の連携や新規産業への参入、取引の拡大が図られることにより、地域企業の活性化や雇用の創出・安定が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		10,108	10,108	10,108	10,108	10,108
役割分担	地域内発型産業の創出に向けた事業を一関市が実施し、平泉町は事業への協力を行う。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	企業立地促進事業					関係市町
取組内容	圏域内において工場を新設・増設または設備投資を行った企業に対して助成を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(2018年度)			目標値(2023年度)	
	工場の新設・増設または設備投資を行った企業数(累計)	15社			85社	
事業	企業立地促進奨励事業費補助金、地域企業経営強化支援事業費補助金 一関市：地域生産設備等投資促進補助金					
効果	圏域住民の雇用の創出が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		140,585	130,754	197,628	110,628	107,628
役割分担	通勤圏を同じくする圏域住民の雇用確保のため、両市町がそれぞれ助成を行う。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 農産物のブランド化などの農業振興

【協定の内容】

取組の内容	圏域の豊かな農産物資源等を活用した付加価値の高い商品開発や、新たな顧客の開拓と販路構築のための取組を支援する。
一関市の役割	生産者等が行う圏域の農産物の知名度向上と、その価値と魅力について消費者の理解と関心を高める販売促進活動や、農産物の付加価値向上への取組等の支援を行う。
平泉町の役割	生産者等が行う販売促進活動や農産物の付加価値向上への取組等への支援を行う。

【具体的な取組】

施策名	地産外商促進事業					関係市町
取組内容	首都圏等において開催するイベントで、圏域の食文化や生産環境等も交えて生産者が食材や商品の紹介を消費者へ直接PRし、農産物や圏域の魅力の発信を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	地産外商イベントにおける新規参加者の割合		52%	57%		
事業	地産外商促進事業					
効果	消費者との顔が見える交流により、新たな顧客の獲得と生産者の誇りが生み出されるとともに、食を通じた圏域のファン拡大につながる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		8,720	8,402	8,402	8,402	8,402
役割分担	圏域の農産物のブランド化に向け、世界遺産「平泉」のイメージ戦略と併せた首都圏等でのイベント等を一関市が実施し、その費用を両市町が負担し、平泉町も参加する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	農林水産業6次産業化支援事業					関係市町
取組内容	圏域の農林水産物を活用した加工品開発や加工施設・機械の整備に要する経費に対し、助成を行い、6次産業化や圏域の事業者による農商工連携の推進を図る。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	6次産業化支援事業により商品化・製品化した数(累計)		2件	31件		
事業	一関市：農商工連携開発事業費補助金 平泉町：6次産業化促進支援事業補助金					
効果	圏域の農林水産物を活用した商品開発や生産設備への支援を行うことで、6次産業化による付加価値向上を図る。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施	—————▶				
事業費見込(千円)		5,543	5,543	5,543	5,543	5,543
役割分担	6次産業化を促進するため、両市町がそれぞれ事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 事業承継・産業人材の確保

【協定の内容】

取組の内容	圏域における産業を将来にわたって持続、発展させるため、圏域内の事業体等の魅力を発信し、人材の確保に取り組むとともに、起業・創業を支援する。
一関市の役割	若者に対し、圏域内の事業体等への理解を深め、産業の担い手となる人材の確保、定着、育成の取組を進めるとともに、起業・創業希望者が事業の立ち上げから持続的な経営を確立できるよう支援を行う。
平泉町の役割	産業の担い手となる人材の確保等の対策を支援するとともに起業・創業の支援を行う。

【具体的な取組】

施策名	地元就業定着支援事業					関係市町
取組内容	高校生をはじめとする学生を対象に地域企業の説明会、見学会や社員との交流会を開催するとともに、地元就職者や地元就職を進める企業等へ支援を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	高校生を対象とした地元企業に対する理解促進を図るイベントでの参加者の満足度		92%	96%		
事業	希望のまち基金事業、若者等ふるさと就職支援事業 一関市：地域企業魅力発見事業、次世代ものづくり定住促進対策事業、企業魅力発見事業、若者地元就業定着事業、インターシップ促進助成金、奨学金返還補助事業、新規学卒者等就農促進支援事業 平泉町：新規就農者支援事業補助金					
効果	地元への就職を考えている新卒者や、Uターンを考えている若者の地元就職や就業及び定着が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施	—————▶				
事業費見込(千円)		46,719	49,314	51,597	53,709	55,821
役割分担	地元就業定着に向けた事業を市町がそれぞれ事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	起業・創業応援事業					関係市町
取組内容	起業セミナーの開催、起業や商店街空き店舗での出店に伴う設備投資等への支援を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(2018年度)			目標値(2023年度)	
	起業支援セミナーの参加者数 (累計)	49人			250人	
事業	一関市：いちのせき起業応援事業、空き店舗入居支援事業 平泉町：ひらいずみ創業塾、空き店舗対策事業					
効果	企業家精神の醸成とともに、若者の働く場所の確保や地域活性化が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		18,389	17,235	17,235	17,235	17,235
役割分担	圏域での働く場所の確保や地域活性化の共通認識のもとに、一関市、平泉町が事業を独自に実施し、その費用をそれぞれが負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(4) 教育及び文化

① 教育環境の整備や教育内容の充実

【協定の内容】

取組の内容	安全な教育環境の確保と併せ、家庭、学校、地域、行政が一体となって子どもたちを育てていく環境を目指し、個性を大切にしながら確かな学力と豊かな人間性を培い、国際理解や郷土理解の学習など総合的な人づくり教育に取り組む。
一関市の役割	心豊かにたくましく、郷土の誇りを未来につなぐ人材を育むため、地域と連携した様々な体験活動の実践や国際性を身に付けるための教育を推進する。
平泉町の役割	学校、家庭、地域、行政の連携のもと、子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし、社会を担う人材育成を推進する。

【具体的な取組】

施策名	学校給食運営事業					関係市町
取組内容	効率的な給食運営と施設利用のため、一関市の給食センターから平泉町の中学校へ学校給食の提供を行う。 また、地場産品が豊富な給食の提供や生産者等の交流を通じた食育活動を進める。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	地場産品に関する食育活動の実施回数		38回	54回		
事業	一関市：学校給食センター運営費、郷土愛を育む食育交流事業 平泉町：平泉中学校給食事務委託事業					
効果	一体的な施設利用により、新たな施設整備の経費が軽減される。 また、学校給食における地場産品の提供と食育活動を通じて圏域の農業や食文化を知り、児童生徒の郷土愛が育まれる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		71,166	71,166	71,166	71,166	71,166
役割分担	学校給食の安定的な提供を共同で行うとの考えに立ち、一関市が平泉町の中学校への学校給食を提供し、平泉町はその費用の一部を負担する。 また、給食の提供と併せて一関市が食育活動を行い、その費用を負担し、平泉町が食育活動に協力する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	将来世代の人材育成事業					関係市町
取組内容	未来に向けた人材を育成するため、英語学習や科学技術に対する興味、関心を高める事業を実施する。 また、社会を生き抜く力を身に付けるため、中学生の社会体験学習を実施する。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(2018年度)		目標値(2023年度)		
	圏域の中学3年生のうち、将来の夢や目標を持っている生徒の割合	72%		77%		
事業	英語の森キャンプ事業、外国語指導助手配置事業、中学生最先端科学体験研修事業、中学生の社会体験学習事業 一関市：中学生 I L C 特別授業					
効果	将来を担う子どもたちの科学技術に対する興味、関心が高まり、国際性、社会性が育まれるとともに、地域への愛着が醸成される。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		66,960	66,960	66,960	66,960	66,960
役割分担	未来へ飛躍を実現する人材を養成するため、一関市が事業を実施し、平泉町は必要な費用の一部を負担するほか、市町独自で事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 生涯学習環境の充実やスポーツ活動の振興

【協定の内容】

取組の内容	住民の多様な学習ニーズに沿った事業を実施し、自主性を基本に据えながら地域づくりに発展する生涯学習の展開を目指すとともに、文化活動やスポーツ活動の活性化等のため、文化施設や社会体育施設の相互利用を推進するなどスポーツに親しめる環境整備に取り組む。
一関市の役割	圏域の生涯学習施設、文化施設及びスポーツ施設の利用の周知やイベント情報の取りまとめを行い、市民に対し、総合的な情報提供を推進するとともに必要な設備整備に努める。
平泉町の役割	圏域の生涯学習施設、文化施設及びスポーツ施設の利用の周知やイベント情報の取りまとめに協力し、町民に対し、総合的な情報提供を行うとともに必要な設備整備に努める。

【具体的な取組】

施策名	地元学事業					関係市町
取組内容	郷土の歴史、文化及び産業について学ぶことができる、講座、講演会、体験学習、見学ツアーなど様々な機会を提供する。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	地元学事業の参加者数及び開催回数		1,498人	1,680人		
事業	一関市：地元学を通じた交流事業 平泉町：ふれあい歴史のさと事業					
効果	郷土の歴史、文化及び産業を学びながら、地元の魅力に触れることで郷土愛が育まれるとともに、参加者間での世代間交流が深まる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		2,428	2,428	2,428	2,428	2,428
役割分担	平泉文化や自らが住む地域の歴史等を学ぶ機会を創出するため、両市町が地元学等の事業を実施し、それぞれ必要な費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	学術・スポーツ振興事業					関係市町
取組内容	一関市内で宿泊を伴う学会、大会、会議及びスポーツ大会を開催する主催者に対し、補助を行う。					一関市
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	東北規模以上の学会や大会等の開催数		3回	4回		
事業	一関市：学会等開催補助金					
効果	地域外から参加者が集う学会等の開催機会の増加により、学術、スポーツを通じた地域活性化や文化的・人的交流が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
役割分担	学会やスポーツ大会等を誘致するため、一関市が補助金の交付を行い、費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 世界遺産「平泉」の構成資産及び個別資産の調査研究と保存管理

【協定の内容】

取組の内容	「平泉の文化遺産」の世界遺産拡張登録に向け、平泉文化及び個別資産の調査研究を進めるとともに、包括的保存管理計画に基づく保存管理に取り組む。
一関市の役割	骨寺村荘園遺跡をはじめとする個別資産等の調査研究及び保存に努める。
平泉町の役割	世界遺産「平泉」の構成資産と併せ個別資産の調査研究及び保存に努める。

【具体的な取組】

施策名	世界文化遺産調査整備事業					関係市町
取組内容	「平泉の文化遺産」の調査保存を行い、その成果を後世へ繋いでいくもの。					平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	包括的保存管理計画に基づく無量光院の整備進捗率		63%	100%		
事業	平泉町：平泉遺跡群調査整備事業					
効果	世界文化遺産のさらなる調査、整備保存を行うことにより、圏域の歴史、文化、観光等の中核とすることができる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		91,532	79,181	76,181	25,115	25,115
役割分担	圏域の財産である「平泉の文化遺産」を後世に繋いでいくため、平泉町が調査、保存整備を実施し、その費用を負担する。 一関市は、必要に応じ、平泉町の調査の協力をを行う。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	世界遺産拡張登録推進事業					関係市町
取組内容	「平泉の文化遺産」の関連資産として、「柳之御所遺跡」、「達谷窟」、「骨寺村荘園遺跡」の拡張登録の推進を図る。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(2018年度)			目標値(2023年度)	
	「平泉の文化遺産」の拡張登録 資産数	0資産			3資産	
事業	一関市：骨寺村荘園遺跡調査研究事業、骨寺村荘園遺跡世界遺産登録 推進事業 平泉町：拡張登録推進事業					
効果	調査や保存整備が行われることにより、世界遺産の拡張登録に向けた環境整備が図られる。					
実施スケジ ュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施	—————▶				
事業費見込(千円)		26,325	27,725	28,212	28,221	28,221
役割分担	世界遺産拡張登録に向け、両市町が関連資産の調査、保存整備を実施し、それぞれ必要な費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(5) 消防防災

① 消防防災体制などの充実

【協定の内容】

取組の内容	災害に備える住民の防災意識を高めるとともに、消防力や予防体制の強化、救急・救助体制の充実に取り組む。
一関市の役割	消防防災体制を整備し、安全・安心を確保する取組を推進するほか、関係機関と連携し、市民の防災意識の向上に努める。
平泉町の役割	関係機関と連携し、町民の防災意識の向上を図り、安全・安心な圏域づくりに努める。

【具体的な取組】

施策名	広域消防事業				関係市町	
取組内容	圏域内で発生した火災、救急及び救助事案について、広域的な事案処理ができるよう一関市が平泉町から業務を受託し、実施する。 あわせて、圏域内の防災力を高める活動を推進する。				一関市 平泉町	
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	消防防災セミナー参加人数		12,246人	13,000人		
事業	一関市：常備消防事業 平泉町：消防事務委託事業					
効果	圏域住民の安全・安心の確保、向上が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		289,794	289,794	289,794	289,794	289,794
役割分担	広域的、安定的な消防防災体制の構築に向け、一関市が圏域内の消防、救急業務を実施し、平泉町がその費用の一部を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野の取組

(1) 地域公共交通

① バス等の地域公共交通の維持

【協定の内容】

取組の内容	人口減少及び高齢化の進展を見据え、住民や圏域への来訪者の移動を支える公共交通ネットワークの維持、確保に取り組む。
一関市の役割	交流の促進と地域の暮らしを支える公共交通ネットワークを関係機関と連携して確保する。 あわせて、公共交通の利便性、効率性の向上を図り、利用しやすい環境を整える。
平泉町の役割	圏域内の生活バス路線及びコミュニティ交通などの利用促進活動に努める。

【具体的な取組】

施策名	生活バス路線対策事業					関係市町
取組内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持するため、廃止路線の代替手段として運行するコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行に要する経費に対して補助を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2017年度)	目標値(2023年度)		
	人口に対するコミュニティバス等の乗車人数(延べ)割合		130%	130%		
事業	一関市：バス運行事業費補助金、市営バス運行事業 平泉町：廃止路線代替バス運行補助金、患者輸送バス運行事業					
効果	地域間・地域内を結ぶ交通ネットワークを維持・確保することにより、自家用車を自由に利用できない住民の日常生活の移動を支える。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		241,507	236,655	236,655	236,655	236,655
役割分担	日常生活に必要となる交通ネットワークを確保するという共通認識のもと、一関市、平泉町が独自に補助等を実施し、それぞれ費用負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 交通インフラ整備

① 圏域市町間を結ぶ主要幹線道路の整備と他圏域を結ぶ高規格道路の整備促進

【協定の内容】

取組の内容	圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の整備を促進するとともに、市町境に係る道路整備のために連携し、交通渋滞の緩和や、交通安全の確保、生活の利便性の向上及び圏域内外の交流人口の拡大に取り組む。
一関市の役割	市道等の整備を推進するとともに、交通機能の整備に係る関係機関への働きかけを行うなど、交通網の整備に努める。
平泉町の役割	町道等の整備を推進するとともに、交通機能の整備に係る関係機関への働きかけを行うなど、交通網の整備に努める。

【具体的な取組】

施策名	主要幹線道路等整備促進事業				関係市町	
取組内容	東北縦貫自動車道平泉スマートインターチェンジや圏域内外を結ぶ国県道の整備促進のため、連携し、要望活動や必要な取り組みを行う。				一関市 平泉町	
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	平泉スマートインターチェンジの1日当たりの利用台数		0台 (2021年3月供用開始)	1,300台		
事業	平泉町：平泉スマートIC整備事業					
効果	圏域内外の交流人口の拡大が見込まれるほか、交通安全の確保、生活の利便性の向上が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施	—————▶—————				
事業費見込(千円)		326,000	241,047			
役割分担	圏域の産業振興、観光振興を図るとともに、交流人口の拡大に向け、両市町が連携して要望活動等を実施し、それぞれ必要な費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	幹線道路等整備事業					関係市町
取組内容	一関市及び平泉町間の幹線道路や圏域内の生活道路の整備を行う。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	市道及び町道の改良率		56.7%	57.7%		
事業	一関市：道路新設改良事業、広域基盤整備事業 平泉町：幹線道路整備事業					
効果	交通安全や災害時の安全が確保され、生活の利便性の向上も図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					▶
事業費見込(千円)		625,701	327,158	100,000	100,000	100,000
役割分担	圏域内の交流を促進するとともに、災害時の安全確保を図るため、両市町間の生活道路の整備を実施し、それぞれ必要な費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 協働のまちづくり

① 住民が主体となった協働の地域づくり

【協定の内容】

取組の内容	住民が主体となった住み良い地域を形成するため、住民、地域、行政など多様な担い手がお互いの立場を尊重し、公共的、公益的な活動について、話し合いを継続しながら、合意を基に協力して行動する協働のまちづくりに取り組む。
一関市の役割	多様な主体と行政が役割分担し、相互に支え合い、補完しながら、地域課題の解決や地域づくりに取り組む市民、地域と行政の協働を進める。
平泉町の役割	町民と行政がそれぞれの役割と責任を持って協働し、地域社会における課題解決の仕組みづくりに向け、町民と行政との協働体制の確立を進める。

【具体的な取組】

施策名	協働のまちづくり事業		関係市町			
取組内容	住民が自発的に関わって行う地域づくり活動や活動の中心的な役割を担う組織や人材の育成を支援するとともに、活動拠点等の充実を図る。		一関市 平泉町			
事業	一関市：市民活動推進事業、地域協働体活動費補助金 平泉町：協働のまちづくり推進事業					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)		目標値(2023年度)	
	地域活動の事業数		384事業		385事業	
効果	住民等のまちづくりへの参画の機会が増えることで、地域の課題解決と地域コミュニティの活性化が図られるとともに、地域特性と住民のニーズに合った行政サービスが提供できる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		160,232	160,207	160,207	160,207	160,207
役割分担	両市町が協働によるまちづくりを推進し、それぞれ必要な費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(4) 地域内外の住民との交流、移住促進

① 移住定住の促進

【協定の内容】

取組の内容	圏域への移住希望者や圏域外に居住する圏域出身者を惹きつけ、移住につなげるよう、当圏域での暮らしの情報発信や移住促進のための取組及び若者の地元定着と出会いの場の創出を連携して進める。
一関市の役割	圏域への移住希望者や圏域外に居住する圏域出身者へ生活情報や居住情報、雇用情報などを発信し、移住定住を促進するとともに若者の出会いの場を創出する。
平泉町の役割	圏域への移住希望者や圏域外に居住する圏域出身者へ生活情報や居住情報、雇用情報などを発信し、移住定住を促進するとともに若者の出会いの場を創出する。

【具体的な取組】

施策名	移住定住促進事業					関係市町
取組内容	近隣市町で連携し、移住希望者へ圏域での暮らしの魅力を情報発信し、移住体験ツアーやお試し移住、移住者への住宅取得の費用に対する助成、空き家バンクなど移住定住につながる事業を実施する。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	お試し移住の宿泊者数		13人	30人		
事業	移住定住促進事業					
効果	圏域一体となった効率的な情報発信や各種事業の実施により、圏域内への移住人口の増加が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		44,031	42,943	42,943	42,943	42,943
役割分担	移住定住の促進に向けて、連携事業を行い、一関市、平泉町それぞれが必要な費用を負担するほか、市町独自の事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

施策名	結婚活動支援事業					関係市町
取組内容	出会いの場創出のため、近隣市町での連携事業も含めた婚活イベントの開催、縁結び支援による独身者の仲介や結婚祝金の交付等の人口増加につながる事業を実施する。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(2018年度)		目標値(2023年度)		
	合同婚活イベントのカップル成立組数(累計)	6組		19組		
事業	結婚活動支援事業					
効果	出会いの場や機会の創出により結婚して圏域内で暮らし続けられるような環境が形成される。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施	→				
事業費見込(千円)		16,858	17,658	16,858	16,858	16,858
役割分担	結婚の機会創出が定住につながるという共通認識のもと、連携事業を行い、一関市、平泉町それぞれが必要な費用を負担するほか、市町独自の事業を実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野の取組

(1) 中心市等における人材育成

① 外部人材の確保

【協定の内容】

取組の内容	生活機能の強化に係る政策分野及びむすびつきやネットワークの強化に係る政策分野の取組に必要な圏域のマネジメント能力を強化するため、専門知識等を有する人材の確保に取り組む。
一関市の役割	政策分野の取組に必要な専門的知識等を有する人材の確保に努める。
平泉町の役割	政策分野の取組に必要な専門的知識等を有する人材の確保に努める。

【具体的な取組】

施策名	農村地域づくり支援事業					関係市町
取組内容	都市部の若者等に地域の一員となってもらふ事業を活用し、都市農村交流や特産品開発などに取り組む地域を支援する。					一関市 平泉町
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(2018年度)	目標値(2023年度)		
	外部人材が支援した地域数		33地域	40地域		
事業	一関市：緑のふるさと協力隊支援事業、農村地域づくり活動支援員設置事業					
効果	事業実施にあたり、圏域外の視点や専門知識を有する人材等を活用することにより、地域活性化が図られる。					
実施スケジュール	年	2019	2020	2021	2022	2023
	事業の実施					→
事業費見込(千円)		11,453	10,145	10,145	10,145	10,145
役割分担	外からの視点が新たな活性化の機会を創出するという共通認識のもと、圏域外の居住者や専門的知識を有する人材を活用した事業を一関市が実施し、その費用を負担する。					

※事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。